

交通事故状況				
種別	区分	累計		
		6月	本年	昨年
発生件数		52	262	261
死亡者		4	10	3
重傷者		6	17	25
軽傷者		56	282	311

発行所 山口県庁
編集印刷 企画部広報課
(有)中央印刷社



パークロードの完成を祝い、県警察音楽隊を先頭にパレードする関係者

緑と文化の道

パークロードが完成



県立美術館の堀にできた石の彫刻「モニュメント」300トンの石が使われています

県が昭和四十五年から整備を進めていたパークロード山口駅前線が完成、七月三日県立博物館前で完工式が行われました。周辺には、県立博物館や図書館、美術館などの文化施設が並び、心にうるおいと安らぎを与える人間味豊かな、公園と道路が一体化した安全で快適な道です。

完成した道路は、国道九号線と交差する早間田から県庁までの七百八十メートルで、車道、歩道、植樹帯を含め幅四十メートルです。両側の歩道や植樹帯には、ケヤキやクスノキ、ツツジなど約一万本の樹木と照明灯やモザイクの絵タイルなどがあり、絶好の散歩道となっています。

ふるさとに 心をこめた この一票

8月3日 県知事選挙の投票日

時間 午前7時～午後6時

交通事故多発

非常事態を宣言



衝突によって前部を大破。運転者は死亡

全国第二位の汚名

六月三十日現在で、市内の交通事故死者は十人となりまし
た。これは、昨年の同期を七人
も上回り、人口十万人当たりの
交通事故死亡率でも、ウースト
第一位の松坂市（三重県）に次
ぎ第二位で、九・二六人となっ
ています。

特に、今年に入ってから
交通事故死者十人のうち、六人
が山口市民です。

このことは、「交通事故は他
人ごと、自分は全くの部外者で
あって、被害者にも、加害者に

早くも10人が死亡
（未見未現在）

も絶対なるおそれはない」とい
う安易な自信と安心感が、まだ
まだ、かなりの市民に残ってい
ることを示しているのではない
でしょうか。

亡くなった十人とその家族に
はもちろん、加害者やその家族
にも、交通事故という「他殺」
や「自殺」は、筆舌に尽くせな
い無限の無念さと悲しみをいっ
までもとどめています。

交通事故撲滅に 市民総ぐるみで

こうした相次ぐ犠牲者（死者
十人・重傷十五人）を、これ以上
出さないために、六月二十四
日、市交通安全対策協議会（会
長・堀市長）では、「山口市か
ら交通事故を撲滅するため、市
民ひとりひとりが総ぐるみで、
なお一層の努力を払う」ことを
誓い合い、「交通事故多発非常
事態」を宣言しました。

この宣言は、今年の死亡者が
すでに昨年の八人をこえている
ことから、今年いっぱい続けら
れます。

また、夏の行楽期と盆休みを
ひかえ、七月二十六日から八月
三十一日まで、「夏の交通安全
健民運動」が県下で一斉に行わ
れます。



新収入役 奈良収

六月二十五日から開かれてい
た定例市議会は、七月八日、初
日に提案された山口市障害者福
祉都市推進協議会設置条例など
十六議案と、追加提案された収
入役の選任など八議案を原案通
り可決、承認して閉会しまし
た。

24議案を可決、承認

六月市議会
終わる

収入役に奈良収氏
伊藤孝文収入役と光成幸雄監
査委員の任期満了に伴う人事に
ついて、新収入役に奈良収氏
（前企画部長）を、監査委員に
田中重雄氏（元監査委員事務局
長）をそれぞれ選任しました。

また、任期満了に伴う選挙管
理委員に本城善亮（再任）、大隅
清治（市観光協会副会長）、金
子忠男（元市選管事務局長）、
小田律男（元吉敷公民館長）の
各氏を決めました。

1月～6月の死亡事故の状況

日時	場所	性別	年齢	事故の状況
1月20日 13時30分	宮野上仁保地バス 停(国道370号線)	男	28	飲酒運転。高速で下り坂を進行 中、センターラインを越えて、 対向バスに激突
1月31日 18時5分	平井 県道 (平川バイパス)	男	78	前方不注意。27歳の男性が軽四 貨物を運転、道路横断歩行者の 発見が遅れ、衝突
2月8日 7時40分	秋穂二島上ヶ田 県道	男	25	追い越し違反。33歳の男性が普 通乗用車を運転、左カーブで前 車を追い越し、対向車に衝突
3月12日 4時55分	江崎割木松 国道2号線	男	30	前方不注意。大型貨物を運転、 前方の大型貨物の停止に気付く のが遅れ、追突
4月2日 16時18分	佐山 山口宇部有料道路	男	45	居眠り運転。普通乗用車を運転、 推定80キロで、駐車中のクレー ン車に激突
5月1日 22時10分	英一丁目 国道9号線	男	41	前方不注意。55歳の男性が普通 乗用車を運転、道路横断歩行者 の発見が遅れ、衝突
6月4日 21時10分	嘉川西本郷 市道	男	54	ハンドル操作不適當。小型特殊 車(トラクター)を運転中、2.5 メートル下の小川に転落
6月6日 19時30分	仁保上郷荷卸ト ネル 国道376号線	男	54	居眠り運転。軽四貨物を運転中、 センターラインを越え、トンネル 入口のコンクリート壁に激突
6月8日 16時20分	宮野上木戸山峠 国道9号線	男	60	安全速度違反。20歳の女性が軽 四乗用車を運転、左側の山に衝突、 路上に転覆、同乗の父が死亡
6月19日 21時55分	下小崎佐波山ト ネル北口 国道262号線	男	23	最高速度違反。普通乗用車を運 転、高速度で進行中、ハンドル操 作を誤り、トンネル入口に激突

児童文化センター

夏期講座

巡回天文の夕べ

日時・場所 七月二十一日、
宮野小、二十二日・仁保小、
二十三日・大内中。各校の
校庭で午後七時三十分から
対象 小・中学生、一般
希望者は現地に集合。会費
は無料

版画講座

日時 七月二十三日午後一
時三十分から、二十四日午
前十時から
対象・人員 小学三年から
六年生まで。四十人
会費 二百八十円

絵画講座

日時 八月二日・三日い
ずれも午前十時から
対象・人員 小学一・二年
生。四十人
会費 八十円

持参品 クレヨン、クレパ
ス、水彩用具

工作講座

日時 八月九日・十日い
ずれも午前九時三十分から
対象・人員 小学五年以上
の小・中学生。四十人
会費 三百円

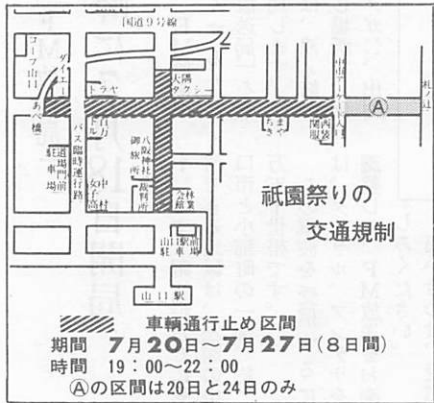
持参品 筆記用具、カッタ
ーナイフ、定規、コンパス、
セメタインC

申し込み 版画・絵画・工
作の各講座とも同センター

☎二二四二八五へ。

山口観光夏まつり

ちょうちん踊り



祇園祭りが二十日から二十七日まで行われます。
中日の二十四日は、恒例のちょうちん踊りが午後七時四十五分の打ち上げ花火を合い図に始まり、中市、米屋町、道場前、駅通りの繁華街に踊り絵巻が繰りひろげられます。
なお、祭り期間中は、左図の通り交通規制が行われます。

祇園祭り期間中の市営バス路線変更
七月二十日から二十七日までの午後七時から十時まで、県庁前発(美術館前経由)千歳橋、山口駅、大内、仁保方面行きは、道場前経由となりますので千歳橋には停車しません。

ちょうちん踊りに市営臨時バス
△吉敷線(西光寺経由)▽中屋発一九〇〇、センタービル前発二一・四〇△天花線▽錦鶏の滝発一九〇〇、市民会館前発二一・四〇△平川線▽平野発一九〇〇、センタービル前発二一・五〇△朝倉線(糸米経由)▽朝倉発一九・三〇センタービル前発二一・四五△宮野線▽市民会館前発二一・三六

引っ越しごみを収集(有料)

営業活動の燃えるごみも

現在、各家庭から出される一般の燃えるごみは、週二回無料で収集していますが、八月一日から、これまで有料で大内の清掃工場に持ち込んでもらっていた一般家庭の引っ越しごみと、営業による燃えるごみは、有料で収集することにしました。また同時に、営業による燃えない

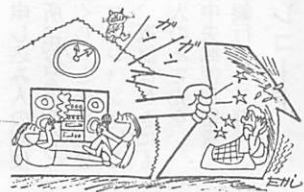
ごみを秋穂二島の不燃物処理場へ直接持ち込んだときの、処理手数料の区分を細分化して、料金適正化をはかりました。
▽一般家庭の引っ越しごみ(可燃・不燃物それぞれ一車につき)
○三ト車は五百円、○七トにつき月千二百円です。
車は千円、二ト車は三千円です。火曜日までに、清掃事務所へ電話で申し込みをし、収集は水曜日の午後になります。

清掃事務所へ電話で申し込みか申請書をご提出ください。

▽営業で出るごみの持ち込み(不燃物で一車につき)
○五トまで三百円、○五トを超え一トまでは六百円、一トを超え二トまでは千二百円、二トを超え四トまでは二千四百円、四トを超え六トまでは四千八百円、六トを超えるものは六千円です。

整理券を衛生課または清掃事務所(☎二二二〇六五)でもらってください。
※災害その他特別の事情があれば、減免がうけられます。

近隣騒音



暑くてなかなか寝つかれない夜、隣近所からのテレビ、ピアノなどの音がうるさいと、睡眠を妨げられたり、精神的にもイライラさせられたり、大変迷惑をします。
お互いが、近隣騒音の発生源とならないように気をつけましょう。また、音がやかましいと感じたときは、気軽に近所づきあいをふんだんから心がけることが大切です。

ふだんから近所づきあいを大切に

募集

母と子の木かけ教室
対象 小・中学生とその親
日時 七月二十四日、八月十八日。時間は午前十時から

場所 市中央公民館と屋外
参加料 無料
申し込み 七月二十二日まで市中央公民館☎二二〇三八一へ

親と子のキャンプのつどい
日程 八月九日、十日
場所 阿東町十種ヶ峰野外活動センター
対象・人員 小学四年から六年生の親子 百人
参加費 二千五百円(交通費、食費を含む)
申し込み 七月二十五日まで市教育委員会社会教育課☎二二二二四七へ

秋吉台で親と子のつどい
秋吉台の自然に親しみながら親子でキャンプや天体観察など一泊二日の野外生活を味わおう。
日程 八月十七日から十八日まで(一泊二日)
場所 県秋吉台少年自然の家
参加対象 小学四年以上の小・中学生と親、子供会指導者
経費 一人千二百円
人員 百人
申し込み・問い合わせは しがきに住所、氏名、性別、学校名、学年、電話番号を書いて美東町秋吉台少年

自然の家☎〇八三九六)二一〇五八一へ
生誕百五十周年記念特別展「維新の先覚 吉田松陰」
生誕百五十周年を記念して、吉田松陰の生いたちから殉難までの関係資料百五十点を展示
期間 七月二十五日から八月二十一日まで(月曜休館)
場所 県立山口博物館
観覧料 大人二百五十円、高・大生百五十円、小・中生百円
記念映画会
日時 八月二日午後一時から
場所 県視聴覚センター
上映映画 殉難百年記念吉田松陰、明治維新への歩みなど
入場料 無料
資料展「維新の先覚吉田松陰」
吉田松陰に関係した資料約百冊を展示
期間 七月二十五日から八月三十日まで(月曜休館)
場所 県立山口図書館二階
音楽の夕べ
夏の夜のひとときを、自衛隊西部航空音楽隊の吹奏隊でお過ごしください。
日時 七月二十三日午後七時から九時まで
場所 市民会館大ホール
入場料は無料。主催山口市
火事の問い合わせは
二五局一一一九へ
火事や日曜、祭日の休日当番医、消防情報などの問い合わせは、専用電話山口二五局一一一九をご利用ください。

お知らせ

